



コンパクトハウスとは？

»1

コンパクトハウスとは、その名前の通り小さな家のこと。明確な定義はありませんが、延べ床面積30坪未満の一軒家を指す場合が多いようです。いわゆる狭小住宅は昔からありましたが、コンパクトハウスが機能性を重視している点で異なります。根本にあるのは、シンプルでミニマルな暮らし。コロナ禍で暮らし方が多様化した中、ニーズの一つとして注目を浴びているようです。

注目されています！

COMPACT HOUSE

最近、コンパクトハウスの人気が高まりつつあります。
あえて小さな家を選ぶのは、どういった理由なのでしょう？
お家探しの際に、候補の一つに加えてみてはいかがでしょうか？

コンパクトハウスのメリット

»2

第一に、家族で顔を合わせる機会が多くなるため、家族間のコミュニケーションがより密になります。生活動線が短いので高齢になっても暮らしやすく、掃除がしやすい利点などもあります。また、新たに土地を取得する場合は選択肢が広がります。さらに、暖房や照明などの光熱費や固定資産税などの税金も抑えられます。



コンパクトハウスのデメリット

»3

床面積が狭い分、建築費は抑えられますが、個性的な間取りを追求した結果、むしろコストが割高になる可能性もあります。家族間の距離が近いということは、それぞれのプライバシーが確保しにくいという面もあります。家族が多いと子どもが大きくなった時、手狭に感じる可能性もあります。収納スペースもコンパクトであるケースが多く、工夫が必要になるかもしれません。



30
tsubo or less

コンパクトハウス

